

投資家・国民の皆さま

公正、透明、健全な事業活動

透明性の高い経営の推進 外部評価により透明性の向上を図っています

当社では事業の効率性・透明性の向上を図るため、社外の有識者からなる事業評価監視委員会を設置しています。毎年1回開催し、当社的高速道路事業について第三者の立場から評価をいただき、今後の事業計画に役立てています。



事業評価監視委員会の様子

積極的な情報公開

ステークホルダーとの対話 毎月の社長定例会見で情報発信をしています

当社グループの経営状況、建設・管理、関連事業等への取り組みに対する理解を深めていただくため、社長による記者会見を毎月開催し、情報発信に努めています。

また、投資家や金融機関の皆さまを対象に事業説明会を毎年開催し、経営層と直接対話いただく機会を設けています。



社長定例会見の様子

メディアを通じた情報発信 現場等をマスコミ向けに積極的に公開しています

高速道路をご利用の皆さまの安全・安心を守る取り組み等をより身近に感じていただけるよう、作業現場等の公開を適宜行っています。

2020年度は、6月に実施した中国自動車道(吹田JCT~中国池田IC)のリニューアル工事において、橋梁のコンクリート床版を撤去する工事現場の様子をマスコミ向けに公開し、工事の必要性や工事概要・施工ステップなどについて説明を行いました。



マスコミ公開の様子

TOPICS 「ソーシャル・ファイナンス」によるSDGsの取り組み

当社が策定したソーシャル・ファイナンス・フレームワーク※がICMA(国際資本市場協会)の定めるソーシャルボンド原則に適合している旨の外部評価を2021年6月に取得しました。今後、当社が発行する社債はソーシャルボンドとなります。

※当社の高速道路事業(新設、改築、修繕並びに大規模更新)等とSDGsとの親和性を4つの視点(調達資金の使途、プロジェクトの評価及び選定プロセス、調達資金の管理、レポートング)からとりまとめた資料

ソーシャル・ファイナンスにより調達した資金を活用し、経営環境の変化に柔軟に対応しながら、環境負荷の低減、激甚化する災害に対応した高速道路の機能強化などの事業活動を通じて、SDGsの達成等に向け、引き続き貢献していきます。